

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の下のグループホームではあるが、「グループホーム」独自の特色性に欠ける。	下期において、職員によびかけ、会議にて話し合いの場をもち、来年度までに自分たちの目指す「グループホーム」を創出する。	「わははと笑って、まめなかな？と声をかけあう」を合言葉に、時間に縛られる事なく、利用者が過したい1日の予定(外出・静養等)を自由に計画し、実行していく。	6 か月
2	2	建物の立地条件や、地域の方、又は家族の方の理解を得る事ができず、交流が困難な状況である。	「グループホームハートフル」を少しでも地域の方に知って頂くため、来年度までに広報誌の発行を目指す。	今年度後期に於いて試作品を発行し、運営推進会議にて、家族の承諾を得る。その後、職場体験や実習の学生、または、民生員の方に依頼し、地域に発信していく。	6 か月
3	35	地域との交流が希薄なため、災害時に地域との協力体制が整っていない。	困った時は、お互いに協力することを提案する。	民生委員の方へ、地元自治会長、地元消防団へのはたらきかけを再度依頼する。また、災害時には、施設を一時避難場所として提供する事も提案する。	6 か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。